



低侵襲最新医療システムのパイオニア



株式会社ウイン・インターナショナル 個人投資家向け会社説明会 資料

WIN INTERNATIONAL CO., LTD.

2013年2月9日

証券コード:2744

株式会社ウイン・インターナショナル

代表取締役社長 秋沢 英海

1. 会社概要	3
会社概要	4
2. 市場環境と事業内容	8
日本の医療制度	9
今後の選択肢	10
低侵襲最新医療システムとは	11
主要取扱製品	12
3. 決算概要	19
2013年3月期 第3四半期決算サマリー	20
通期予想	24
4. 今後の成長戦略	25
新しい治療法、領域の拡大	26
事業エリアの拡大	28
5. テスコ社との経営統合	30
経営統合の概要	31
6. 長期トレンド・株価指標	35



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

1. 会社概要

社 名 及 び 由 来 : 株式会社ウイン・インターナショナル

“New Innovative Wave”

～新しい医療周辺ビジネスの構築を通じて社会に貢献していく～

設 立 : 昭和58(1983)年6月1日

本 社 : 東京都台東区台東4-24-8

資 本 金 : 3億30百万円

事 業 内 容 : 医療機器販売事業

代表者及び役員構成 : 代表取締役社長 秋沢 英海
他、取締役 3名(うち、社外取締役 1名)
監査役 3名(うち、社外監査役 2名)

従 業 員 : 282名

上 場 証 券 取 引 所 : 大阪証券取引所 JASDAQ(スタンダード)

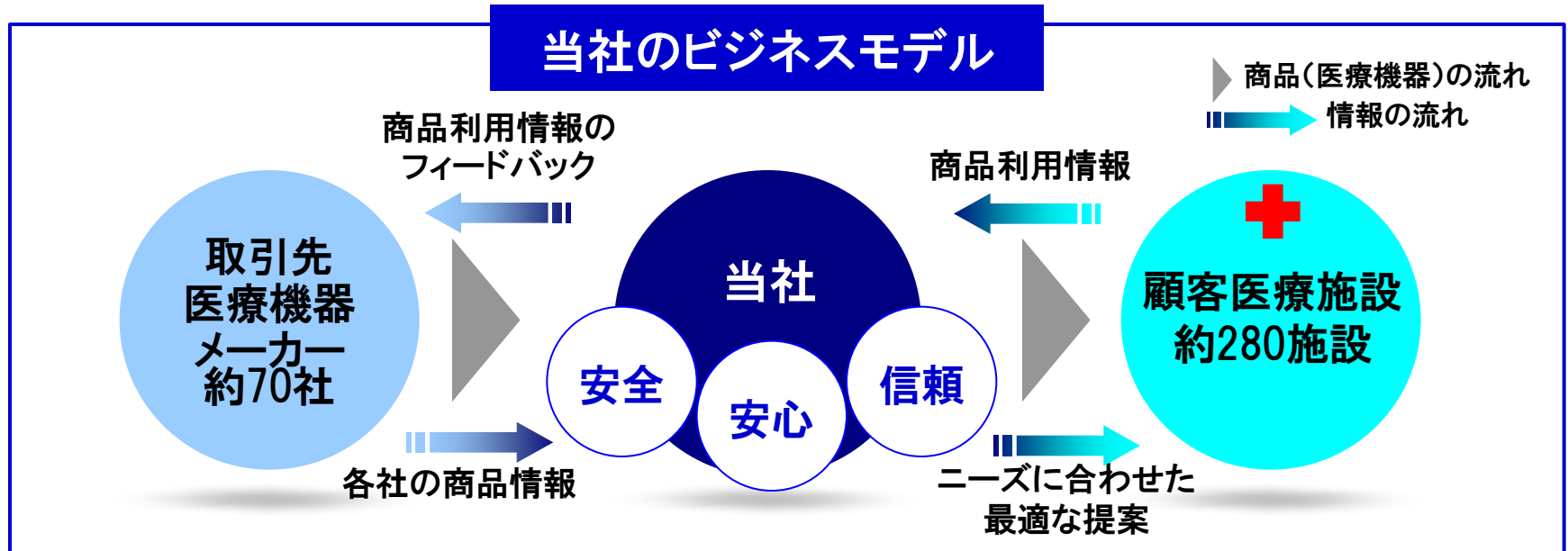
・ 循環器系の低侵襲治療分野に特化

⇒豊富な情報の蓄積

⇒営業スタッフの商品知識・技術知識は業界トップレベル

・ 心臓カテーテルの販売でトップシェア

⇒高度の知識レベルと的確な提案力で高い信頼性



医療機関の3極に対する総合提案力

それぞれのニーズ(医療の質、将来展望、収益性等)にあった最適な提案



経営陣



医師



管理部門

①: 病院経営の視点からの提案

それぞれのニーズに沿った提案

人材補強施策 / 設備投資施策 / 集患施策

量の拡大

業界をリードする
体制の整備と運用

高い収益性

②: 専門性

- ・高度な商品知識、サービスの提供
- ・医療施設の高度医療化をサポート
- ・医療機器メーカーへの提案

③: 集中戦略

- ・顧客: 有力医療施設との取引拡大
- ・製品: 成長分野、高付加価値製品に特化
- ・エリア: 首都圏での販売強化→シェア拡大(全国展開)



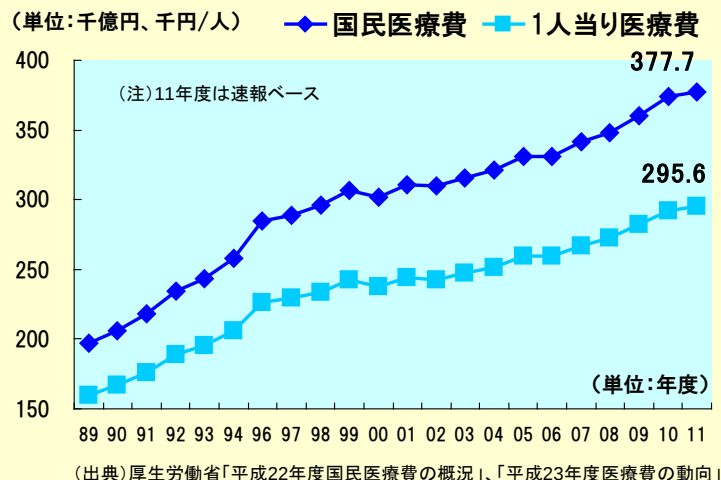
WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

2. 市場環境と事業内容

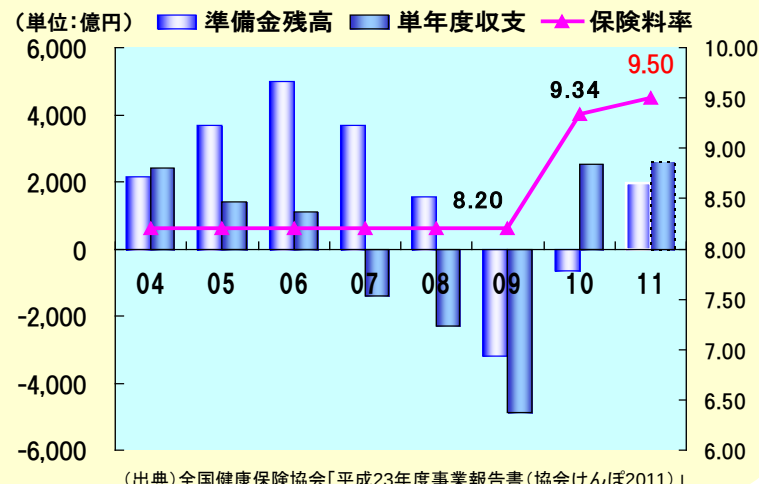
日本の医療は制度疲労を起こしている

医療制度の問題

国民医療費の増大



保険財政の逼迫

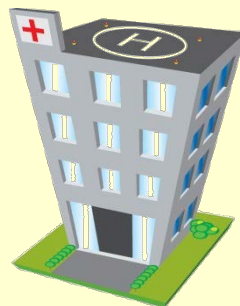


必要な取り組み

効率的・効果的な医療資源の配分

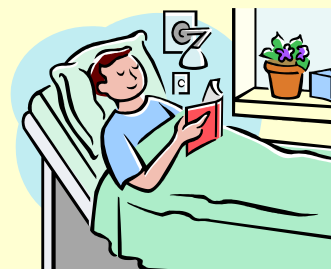


医療費の最適化
適正化余地の追及



病院経営の合理化
(集中と選択)

高品質・効率的医療の提供



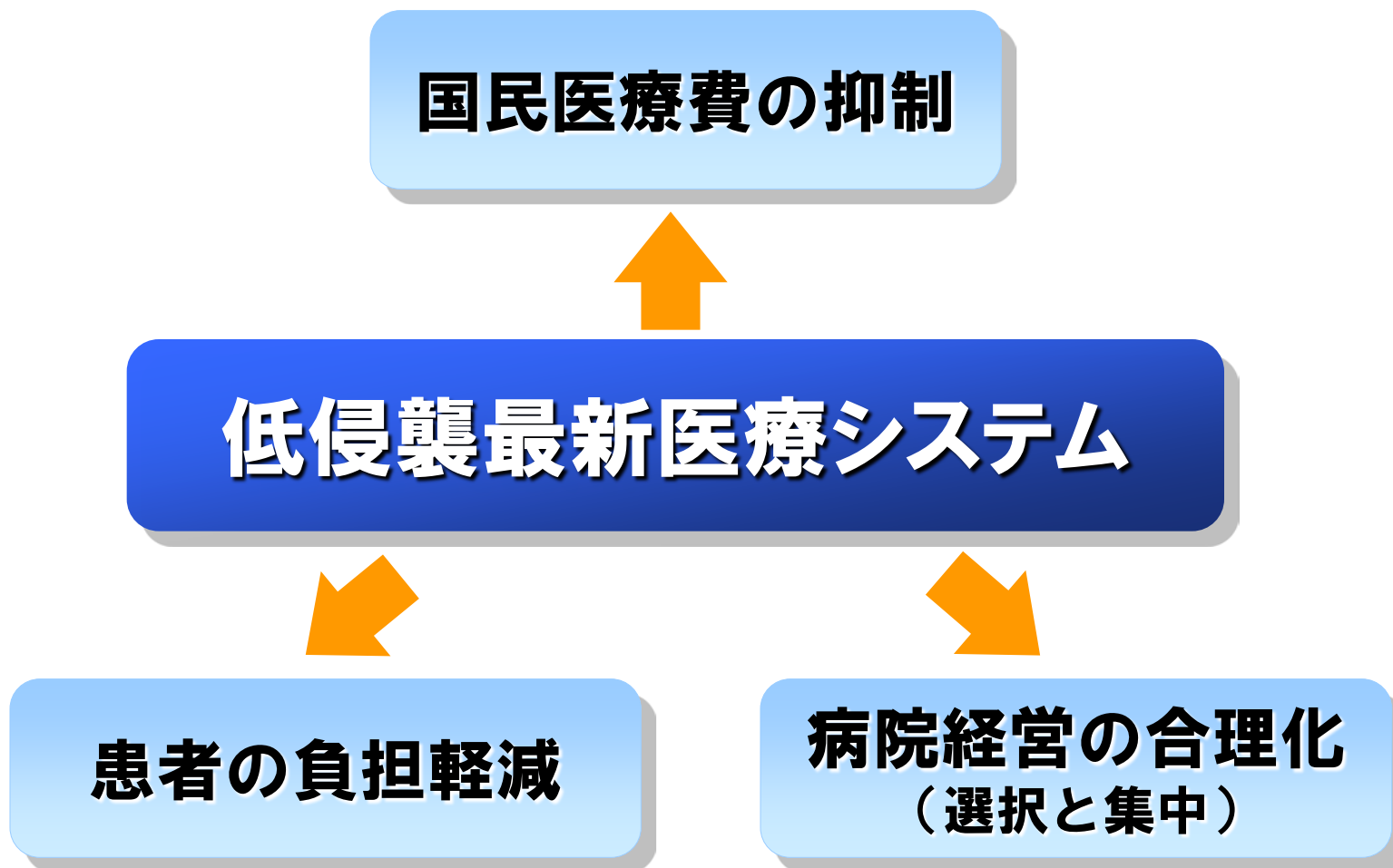
より効果的な治療
必要とされる分野の充実



最新医療技術の
促進・導入

今後の選択肢～高まる低侵襲医療の必要性

当社のビジネスは医療費削減と国民の健康に貢献する



低侵襲とは

検査や治療において、身体に対する侵襲、
つまり**身体的負担（熱・出血・苦痛）を**
できるだけ少なくすること。

患者様の**生活の質(QOL=Quality of life)を向上**
させることが可能で、
このような治療法が増えてきております。

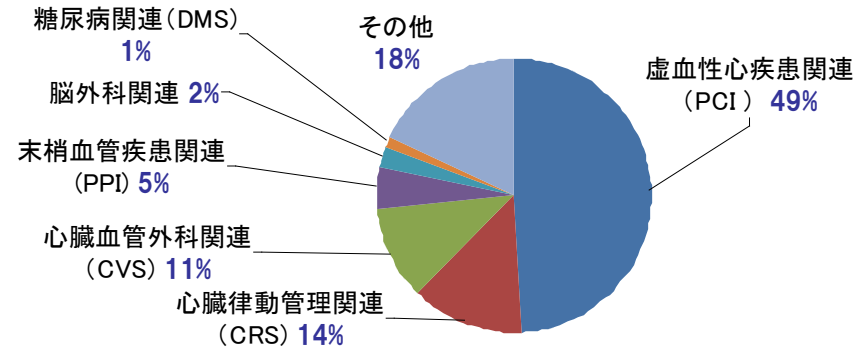


主要取扱製品

主要4製品群

- ・ 虚血性心疾患関連(PCI)
- ・ 心臓律動管理関連(CRS)
- ・ 心臓血管外科関連(CVS)
- ・ 糖尿病関連(DMS)

製品別売上高構成比 (2012年3月期)



主力分野

虚血性心疾患関連
(PCI)



PTCA
バルーンカテーテル
79,100円



DES
(薬剤溶出ステント)
295,000円

特定保険医療材料：国が価格を決定（公定価格）2年に1度価格の見直し

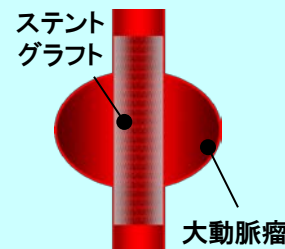
注力分野

心臓律動管理関連
(CRS)



CRTD
4,090,000円

心臓血管外科関連
(CVS)



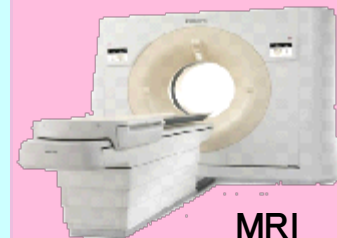
ステントグラフト
大動脈瘤
ステントグラフト(腹部)
1,520,000円

糖尿病関連
(DMS)



インスリンポンプ
(レンタル・販売)

大型医療機器



数千万～数億円

虚血性心疾患関連(PCI)

経皮的冠動脈形成術

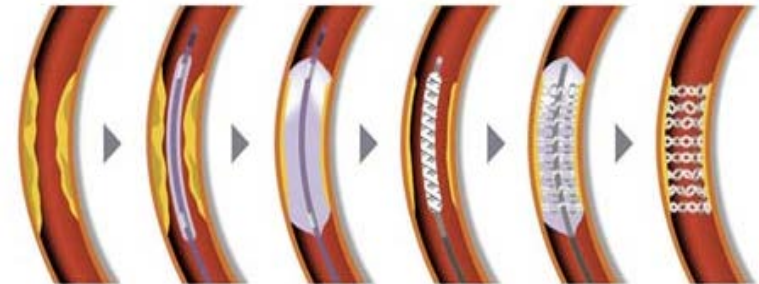
狭心症など血管が狭まり血流が悪化する疾患(虚血性心疾患)を血管内部から治療する方法

PTCAバルーンカテーテル



狭窄(血管が狭くなること)箇所ではバルーンを膨らませ、血管を広げ血流を改善させる。

〔治療イメージ〕

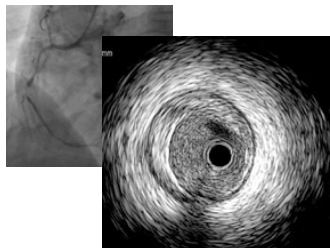


DES(薬剤溶出ステント)

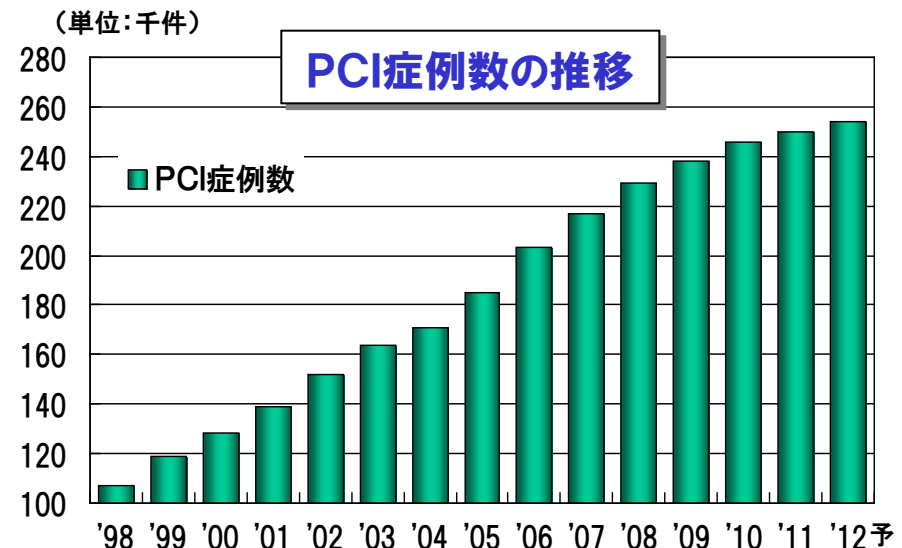


狭窄箇所では筒状の網目の金属(ステント)を留置し、再狭窄を防ぐ。ステントに再狭窄を抑制する薬剤が塗布されているものをDESという。薬は時間をかけて溶出する。

IVUS(血管内超音波診断用カテーテル)



超音波で血管内部を映像化する診断装置用カテーテル。PCIの前後に使用する。



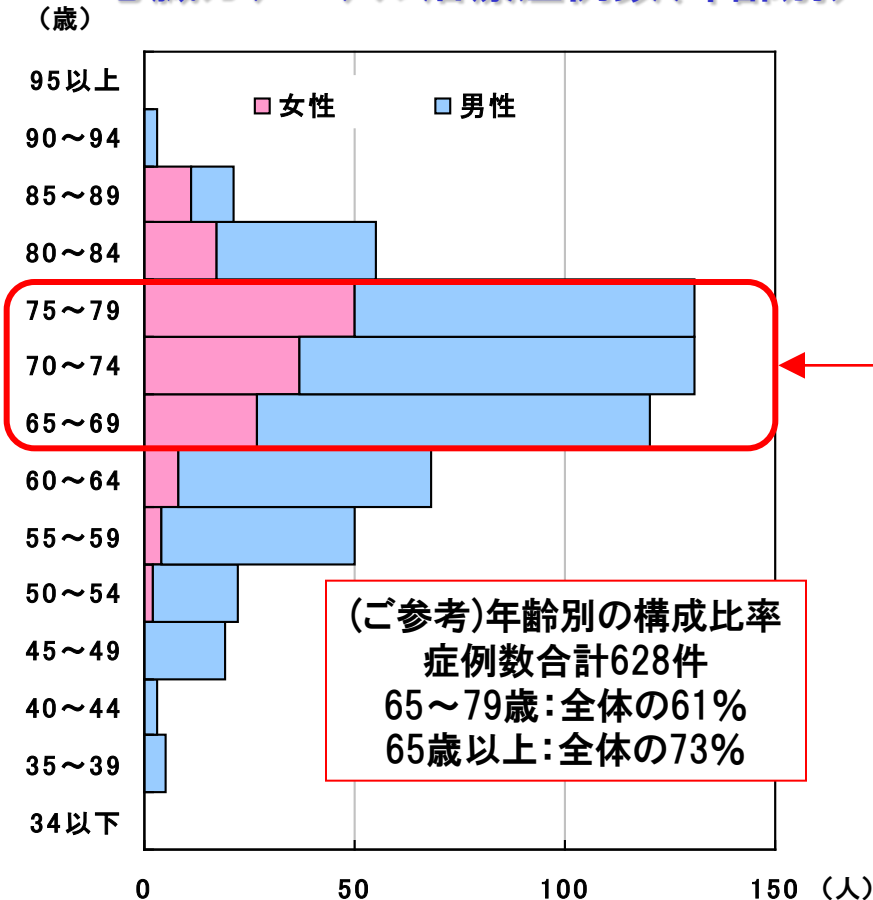
(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2012年版」

PCI市場～高齢化が追い風

① PCIの中心患者は65歳～79歳

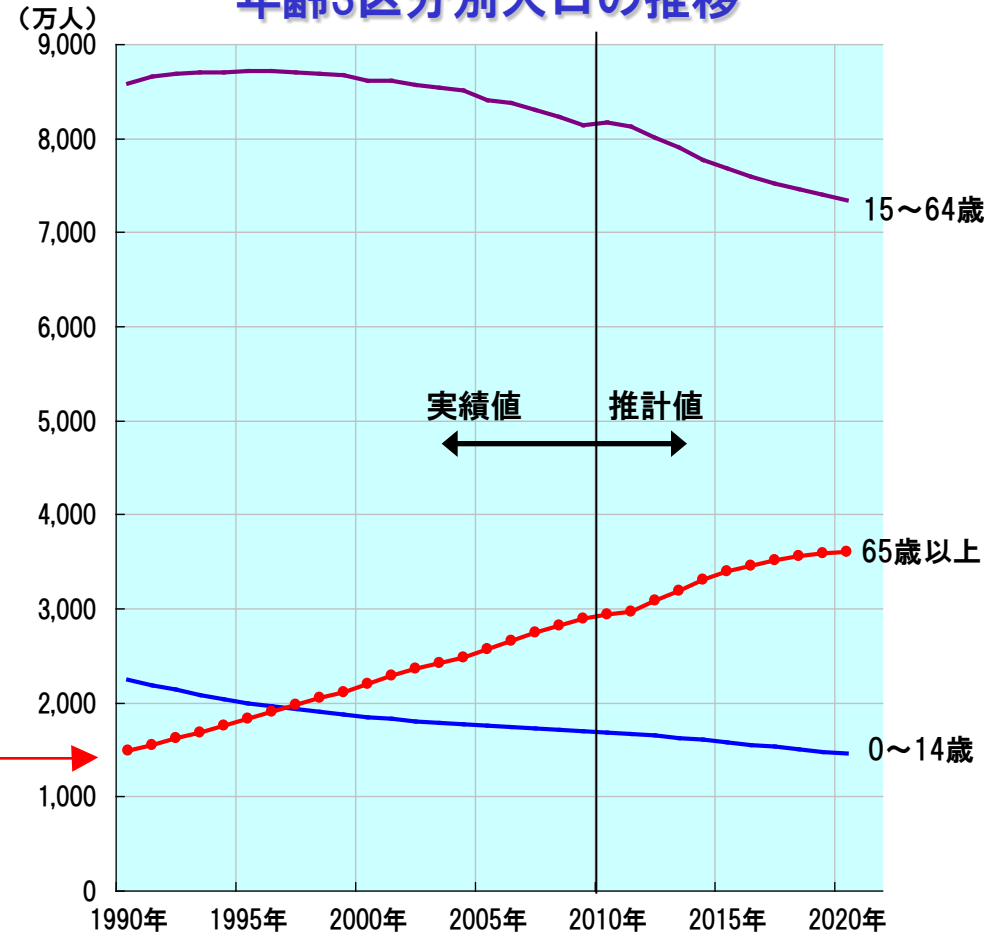
② 中心患者(65歳～79歳)人口が増加

心臓カテーテル治療症例数(年齢別)



(出典)当社取引先の3ヶ月間の年齢別症例数(2010年調査)

年齢3区分別人口の推移



(出典)国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成24年1月推計)14

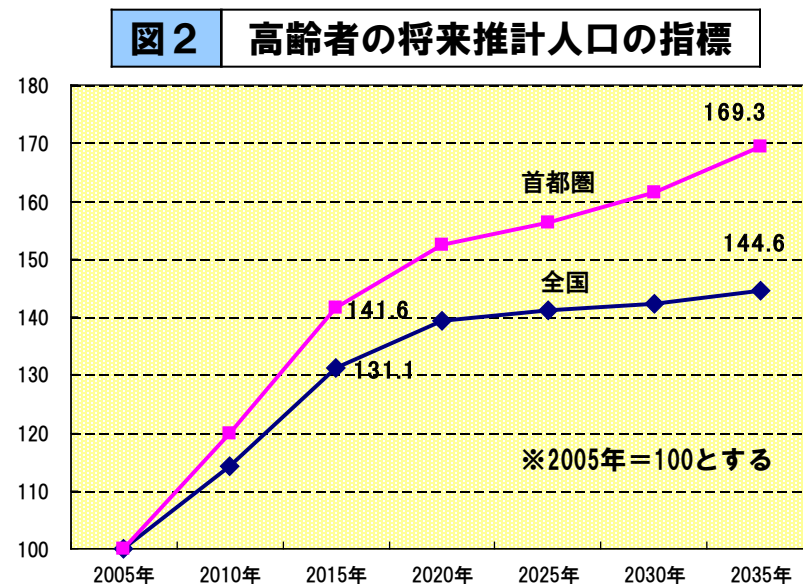
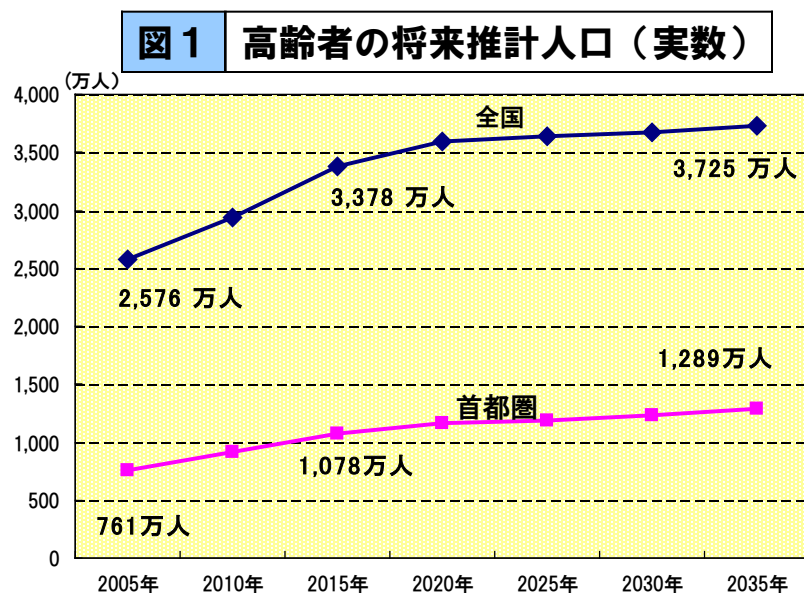
PCI市場～首都圏に強い当社に有利

高齢者人口が飛躍的に増加する首都圏

■2015年までの高齢者人口の動向

【首都圏の高齢者人口】《2005 年》761万人 → 《2015年》1,078 万人…約320万人増加（図1）。

【高齢者人口増加率】 指標:2005年を100 → 2015年《全国》131.1 < 《首都圏》141.6（図2）。



（出典）国立社会保障・人口問題研究所 「日本の市町村別将来推計人口」（平成20 年12 月推計）

心臓律動管理関連(CRS)

ペースメーカー・ICD・CRTD移植術

心筋に電気刺激を与える医療機器を体内に埋め込み、心臓に異常拍動が生じた際には電気刺激を与え、症状を抑える治療法

ペースメーカー



心臓の鼓動が途切れたことを検知すると、電気的刺激を心臓に送り、正常なリズムで鼓動させる

ICD (植込型除細動器)



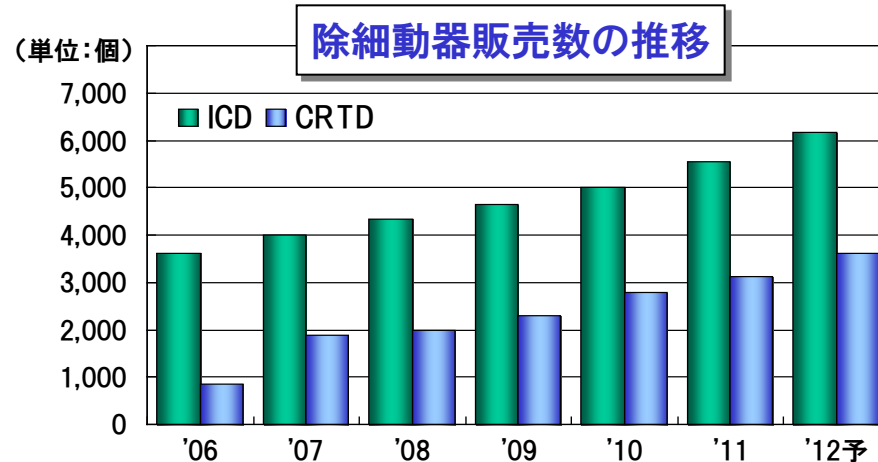
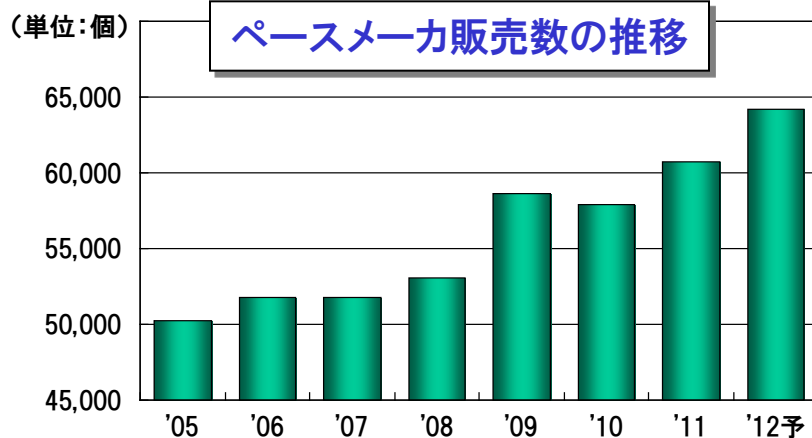
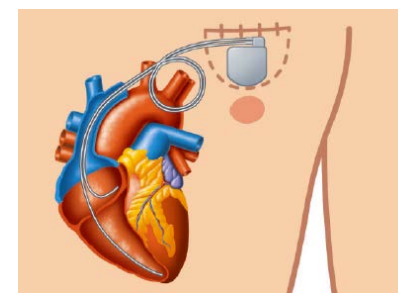
ペースメーカー機能に加えて、命に関わる症状が出た場合には、電気ショックで発作を止める機能がある

CRTD (両室ペーシング機能付き植込型除細動器)



ペースメーカー機能、ICD機能に加えて、心不全を治療する機能がある

〔治療イメージ〕

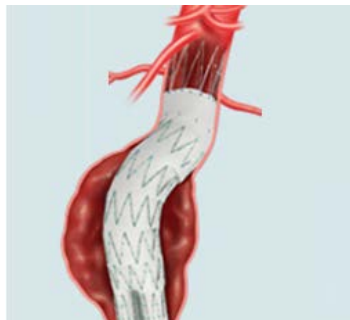


(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2012年版」

ステントグラフト内挿術

・大動脈瘤(腹部や胸部大動脈が瘤のように膨らみ、破裂すると死に至る危険がある疾患)を血管内部から治療する方法。

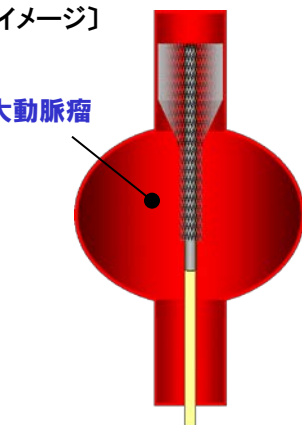
ステントグラフト



筒状の金属(ステント)がついた人工血管(=ステントグラフト)を患部で広げ、瘤内部への血流を遮断し、動脈瘤の拡大を防ぎ、破裂の危険性を低下させる。

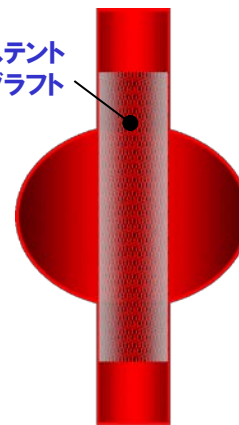
〔治療イメージ〕

大動脈瘤



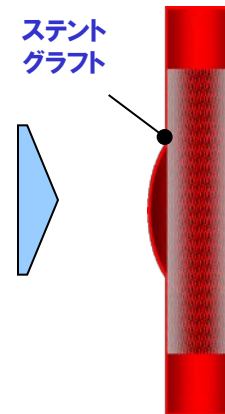
ステントグラフトをカテーテルで患部まで運ぶ。

ステント
グラフト



患部でステントグラフトを広げる。

ステント
グラフト



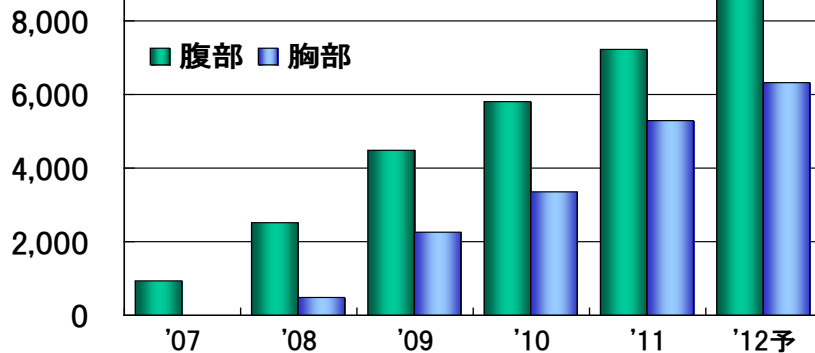
大動脈瘤

瘤への血液の流れが遮断され、瘤が縮小する。

* 縮小しない場合でも破裂の危険性は低下

(単位:個)

ステントグラフト販売数の推移



(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2012年版」

従来の治療法は、外科手術(開胸/開腹手術)が一般的だったが、最近では **低侵襲治療法であるステントグラフト内挿術**が普及し始めている。

【参考】

米国の人工血管置換術の内訳(2006年)
外科手術:ステントグラフト手術 = **4:6**

画期的なインスリンポンプ療法の導入

- ・インスリンを持続的に注入するコンピュータ制御の小型医療機器による糖尿病の治療法
- ・患者の負担軽減によるQOL(生活の質)の改善が可能
- ・欧米では普及しているが、日本国内では普及が遅れている
- * 現在、国内で一般的な治療法は インスリン自己注射療法

【糖尿病患者は2,210万人】

- ・糖尿病患者は全国に2,210万人と推定（参考:「国民健康・栄養調査(平成19年)」）
→糖尿病が「強く疑われる人」890万人、「可能性を否定できない人」の1,320万人

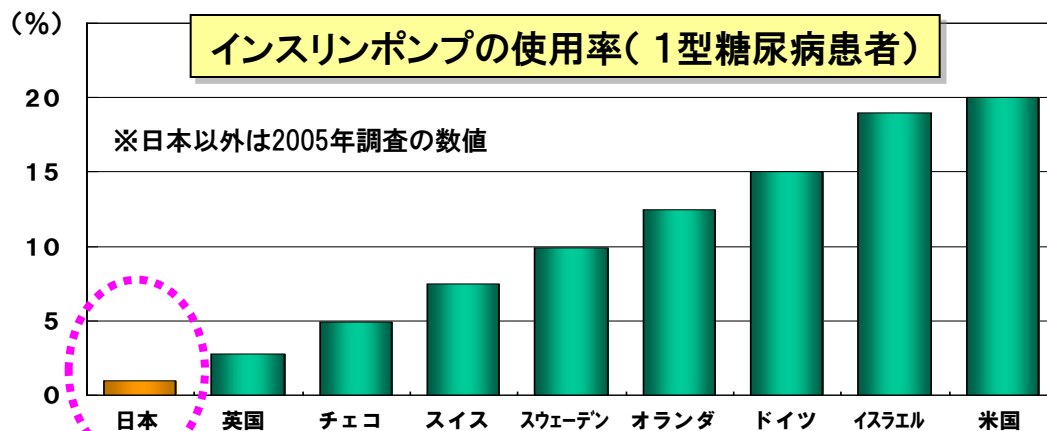
【業界に先駆けてインスリンポンプ療法の普及、啓蒙サポートを開始】

- ・合併症により循環器疾患となった患者にも対応
* インスリンポンプ療法の普及に取り組むとともに、糖尿病による合併症(循環器疾患)への対応サポート

インスリンポンプ



血糖値変動の測定データをもとに
インスリンの持続注入を行う。



(出典) Novo Nordisk Pharma Ltd. Online DITN 第386 号(2010年)により当社作成

- ・日本のインスリンポンプ普及率は1%未満と推定。
- ・日本は欧米の5年前の普及率と比べても極めて低い。



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

3. 決算概要

2013年3月期 第3四半期決算サマリー

	2011年4-12月期		2012年4-12月期		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
売 上 高	24,238	100.0	24,774	100.0	+2.2
営 業 利 益	1,213	5.0	1,100	4.4	▲ 9.3
経 常 利 益	1,221	5.0	1,109	4.5	▲ 9.2
四半期純利益	708	2.9	675	2.7	▲ 4.7
1株当たり四半期純利益(円)	58.00	—	55.32	—	▲ 4.6
1株当たり純資産(円)	573.40	—	622.27	—	+8.5

償還改定による価格下落を数量増で吸収するが、経費増で減益

製品別売上高

商品区分	売上高(百万円)		伸長率 (%)		売上高構成比(%)
	2012年4-12月	2013年4-12月	数量	金額	2013年4-12月
■ 虚血性心疾患関連(PCI)	12,000	11,317	+ 5.0	▲ 5.7	45.7
PTCAバルーンカテーテル	1,791	1,620	+ 9.7	▲ 9.5	6.5
DES(ドラッグエリユーティングステント)	4,727	4,495	+ 10.8	▲ 4.9	18.1
IVUS(血管内超音波診断用カテーテル)	1,490	1,393	+ 4.2	▲ 6.5	5.6
その他PCI関連	3,992	3,809	+ 4.4	▲ 4.6	15.4
■ 心臓律動管理関連(CRS)	3,338	3,646	+ 21.9	+ 9.2	14.7
ペースメーカー関連	1,212	1,073	+ 0.2	▲ 11.5	4.3
ICD/CRT-D関連等(植込み型除細動器等)	831	1,039	+ 29.5	+ 25.1	4.2
EP・アブレーション関連 (電気生理検査用カテーテル・心筋焼灼術用カテーテル)	795	940	+ 26.3	+ 18.2	3.8
その他CRS関連	501	594	+ 23.6	+ 18.7	2.4
■ 心臓血管外科関連(CVS)	2,573	2,664	+ 6.2	+ 3.5	10.8
■ 末梢血管疾患関連(PPI)	1,239	1,329	+ 9.6	+ 7.3	5.4
■ 脳外科関連	617	677	+ 10.2	+ 9.8	2.7
■ 糖尿病関連(DMS)	244	371	-	+ 52.2	1.5
インスリンポンプ(12月末レンタル台数)	169	230	+ 35.1	+ 35.7	0.9
iPro2+CGMS-Gold	45	98	+ 319.4	+ 117.3	0.4
その他DMS関連	30	44	-	+ 47.1	0.2
■ その他	4,227	4,770	-	+ 12.8	19.3
■ 合計	24,238	24,774	-	+ 2.2	100.0

第3四半期決算の総括

【決算のポイント】

4月の償還価格改定の影響(約9%のマイナス要因)を販売数量増で吸収し、
売上高は2%増、PCI関連製品の減収により売上総利益率は0.3ポイント悪化
経営統合関連費用(38百万円)、人件費増(73百万円)により、営業利益は9%減

【主な取り組み】

■ 人員の強化(前年同期末比較:+20名)

＊新規開設の出張所(山口、札幌)、強化エリア(四国)、成長分野のDMS(糖尿病関連)に人員を重点配置

■ 新製品の販売拡大

＊MRI対応ペースメーカー(メドトロ_アドバイザーMRI)、末梢血管用DES(クック_ジルバPTX)等

■ 成功報酬プログラム等のメーカーとの条件交渉を推進



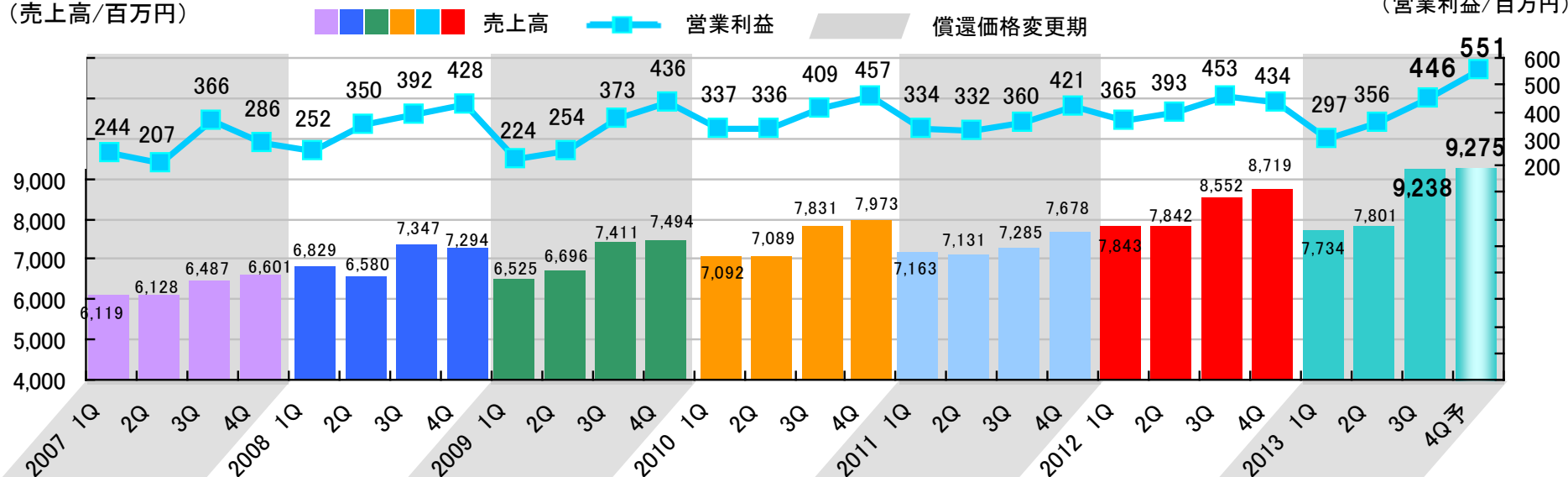
上期の減収から第3四半期(10-12月)は増収に

四半期業績推移

売上高／営業利益の推移(四半期)

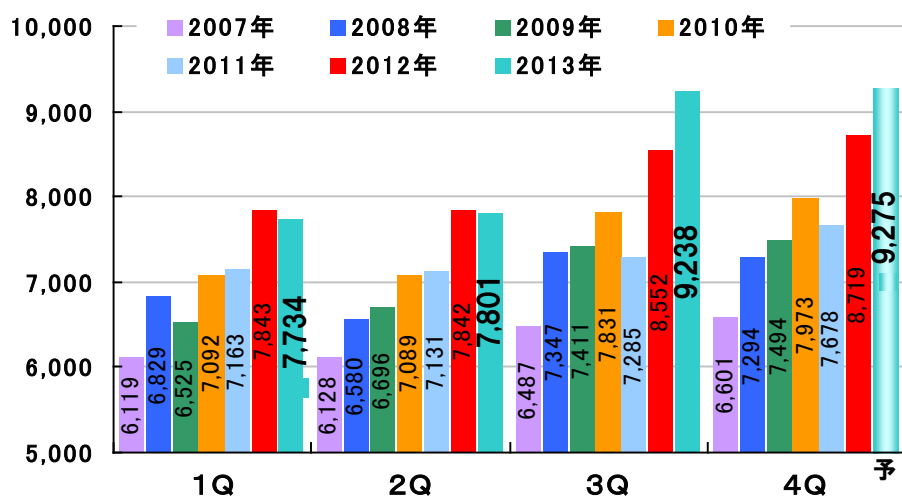
(売上高/百万円)

(営業利益/百万円)



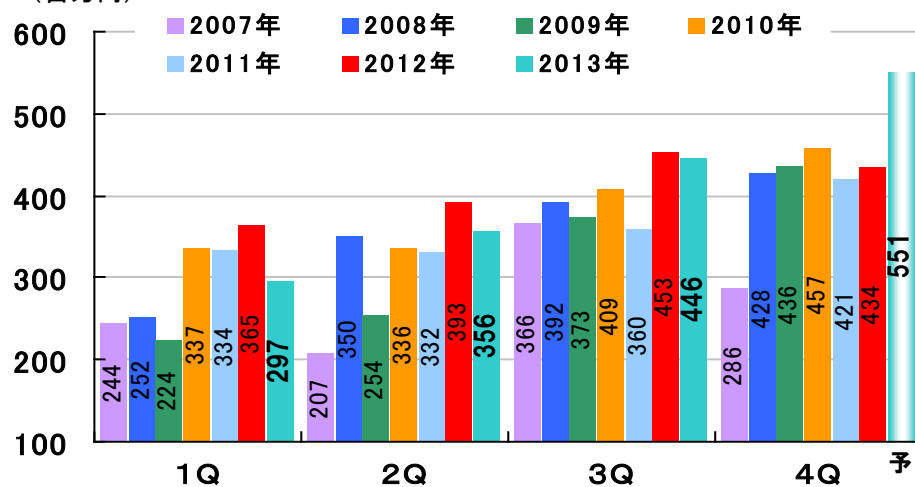
売上高の推移(四半期別)

(百万円)



営業利益の推移(四半期別)

(百万円)



通期予想(2013年3月期)

	2012年3月期 (前期実績)		2013年3月期 (今期予想)		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前期比 (%)
売上高	32,957	100.0	34,049	100.0	+3.3
営業利益	1,648	5.0	1,652	4.9	+0.2
経常利益	1,657	5.0	1,657	4.9	+0.0
当期純利益	955	2.9	1,009	3.0	+5.7
1株当たり純利益(円)	78.23	—	82.74	—	+5.8
1株当たり配当金(円)	28.00	—	29.00	—	+3.6

通期予想に変更はない



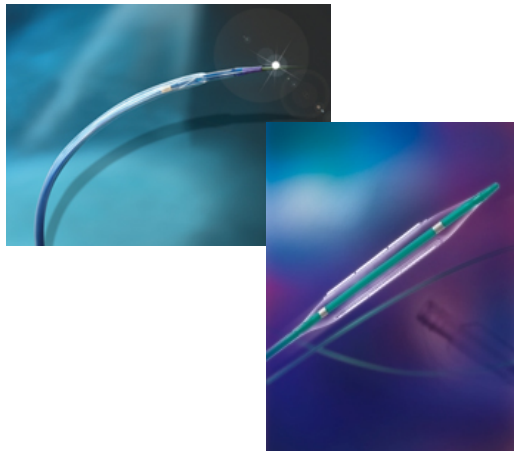
WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

4. 今後の成長戦略

新しい治療法の普及、領域の拡大

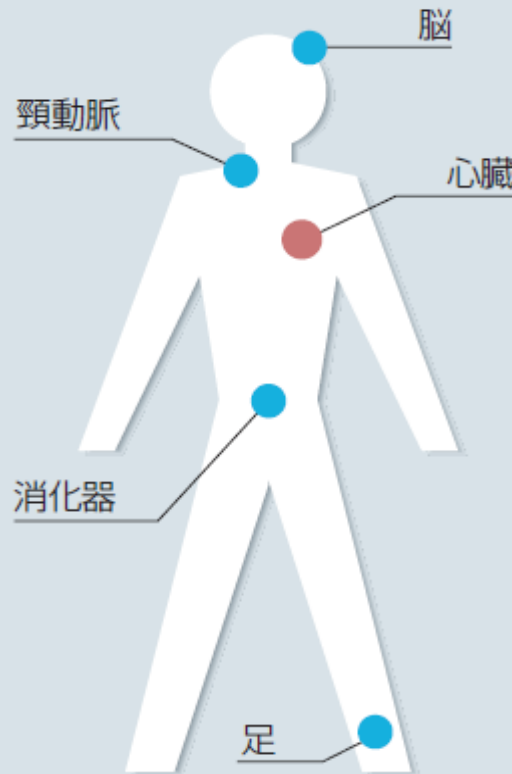
“低侵襲治療”を心臓以外の領域へと拡大 (下肢・頭頸部・腹部領域)

PTAカテーテル・マイクロカテーテル

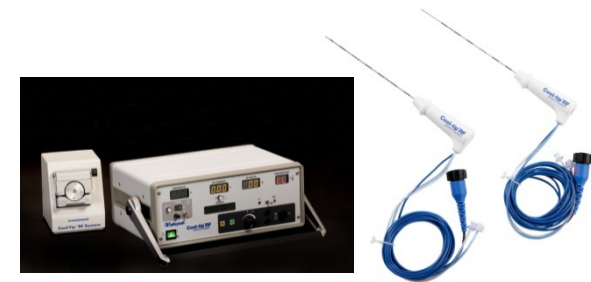


© 2005 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.

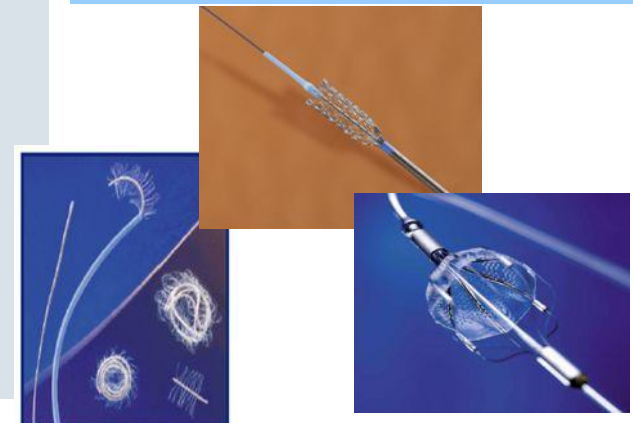
循環器領域から他科への広がり



RFAジェネレータ／ハンドピース



塞栓コイル／CAS(頸動脈ステント)



末梢血管疾患関連(PPI)に注力

経皮的末梢血管形成術

腹部動脈以下の下肢動脈や、頸動脈、腎動脈、上肢動脈などの血管が狭まり血流が悪化する疾患を血管内部から治療する方法。

*PCIと比べ、マーケット規模は小さかったが、製品開発が活発化し、対象症例も増えたことから拡大が見込まれている。

→ 医療施設、医師への営業活動を強化

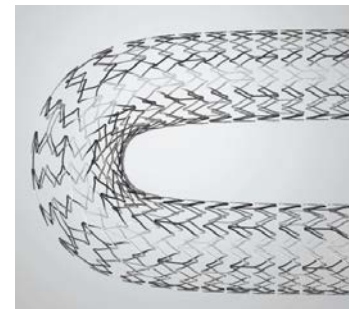
診療報酬改定（手技料増額）

→医療施設の収益向上に寄与し、
新規投資、症例開始、症例数増加

末梢ステント再狭窄抑制型(DES)が保険適用

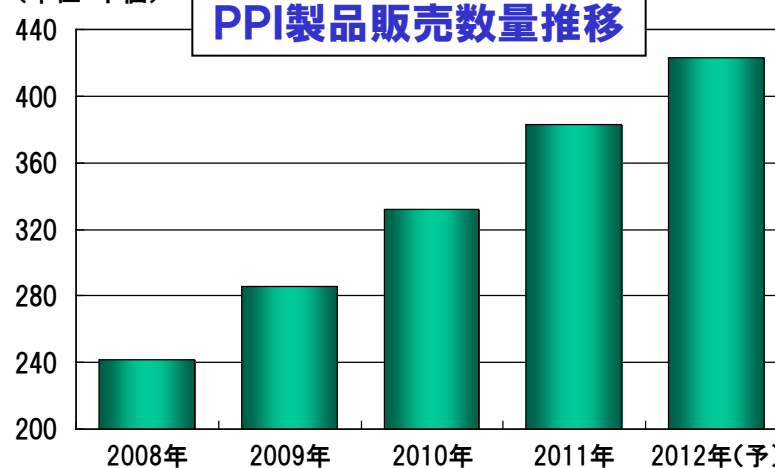
→効果的な低侵襲治療方法・デバイスが増加し、
市場全体が拡大

末梢ステント



太ももの動脈が詰まる「末梢動脈疾患」を治療する筒状の網目の金属(ステント)。ステントに再狭窄を抑制する薬剤が塗布されているものをDESという。

(単位:千個)



(出典)R&D「医療機器・用品年鑑2012年版」 27

事業エリアの拡大～主要都市の体制を強化

(医療機器販売事業)

＜エリアマネジメント＞
第一～三営業部



(医療施設支援事業)

＜企画営業部＞
プランニング
マーケティングサポート



＜セクションマネジメント＞
CRS、CVS、DMS (※)

(※)「CRS」(Cardiac Rhythm Section):心臓律動管理関連の商品を扱う専門セクション。
「CVS」(Cardiac Vascular Section):心臓血管外科関連の商品を扱う専門セクション。
「DMS」(Diabetes Mellitus Section):糖尿病関連の商品を扱う専門セクション。

CRS
CVS

第二営業部

大阪営業所
高松営業所
福岡営業所
山口出張所

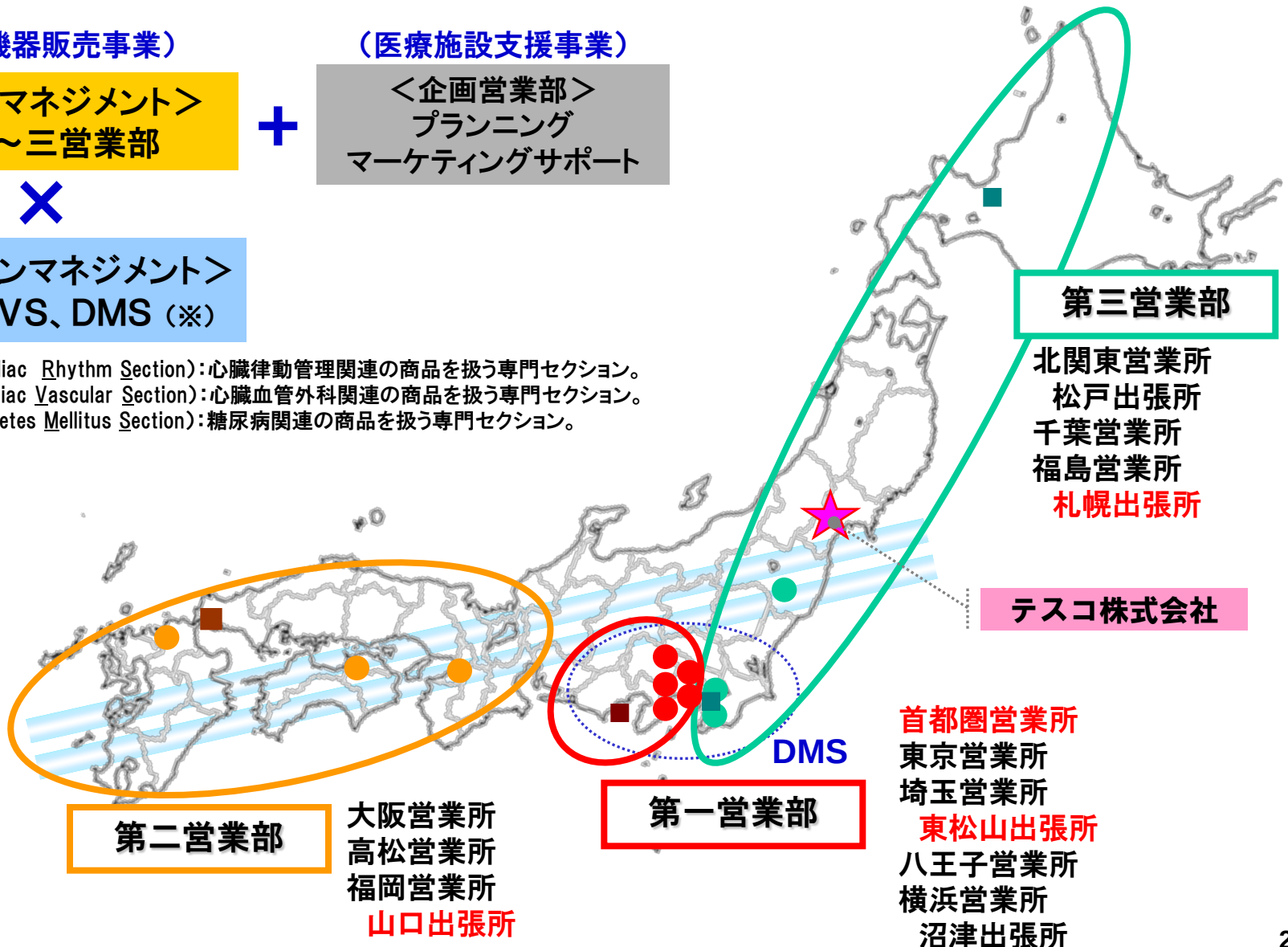
第一営業部

首都圏営業所
東京営業所
埼玉営業所
東松山出張所
八王子営業所
横浜営業所
沼津出張所

テスコ株式会社

第三営業部

北関東営業所
松戸出張所
千葉営業所
福島営業所
札幌出張所



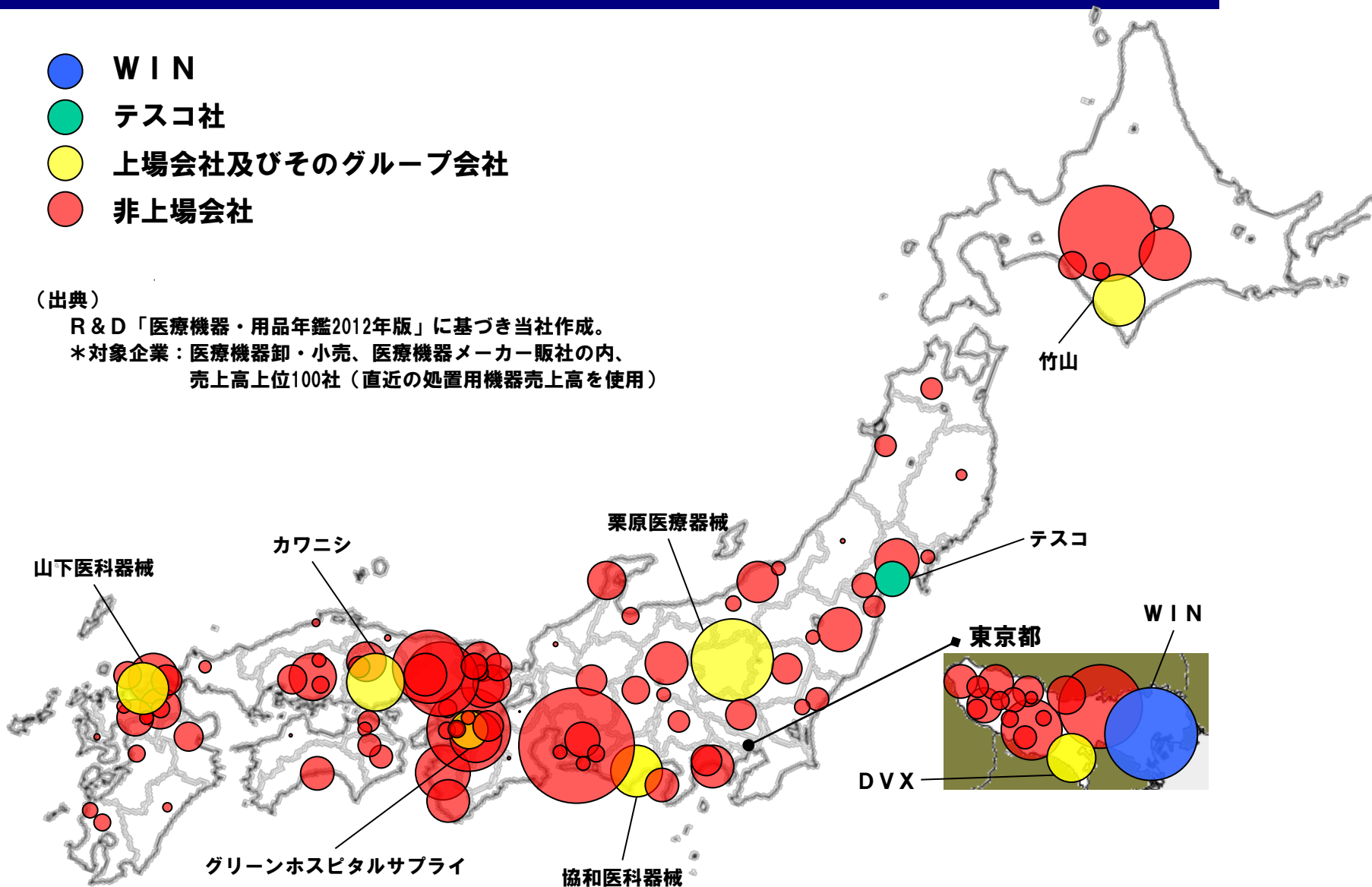
医療機器業界も淘汰、再編が進む見通し

- WIN
- テスコ社
- 上場会社及びそのグループ会社
- 非上場会社

(出典)

R & D「医療機器・用品年鑑2012年版」に基づき当社作成。

*対象企業：医療機器卸・小売、医療機器メーカー販社の内、
売上高上位100社（直近の処置用機器売上高を使用）





WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

5. テスコ社との経営統合

経営統合の概要

■ 名称：ウィン・パートナーズ株式会社（英文名：WIN-Partners Co., Ltd.）

■ 経営統合の形態：共同株式移転

■ 統合期日：平成25年4月1日（予定）

■ 上場：大阪証券取引所 JASDAQスタンダード

※ウィン・パートナーズ株式をJASDAQスタンダードに新規上場申請し、当社株式は上場廃止となる予定です。

統合スキーム

ウィン・パートナーズ株式会社

当 社

 WIN INTERNATIONAL CO., LTD



テスコ株式会社

テスコ社の概要

【テスコ株式会社の概要】

本店所在地	宮城県仙台市青葉区木町1番1号	主な事業内容	医療機器・消耗品販売
代表者の氏名	代表取締役 秋田 裕二	従業員数	60名
設立年月日	昭和48年12月22日	売上高	8,380百万円(平成24年5月期)
資本金	20百万円	主な営業エリア	宮城県、福島県

【参考】当社＋テスコ社（通期単純合算）

(百万円)	当社		テスコ社		合計	
	2012年3月期	構成比	2012年5月期	構成比	金額	構成比
売上高	32,957	100.0%	8,380	100.0%	41,337	100.0%
売上総利益	4,354	13.2%	1,222	14.6%	5,576	13.5%
営業利益	1,648	5.0%	396	4.7%	2,044	4.9%

【テスコ社の強み】

- ★ 宮城県での循環器分野のシェアNo.1、東北地方でもトップクラス
- ★ 高い利益率
- ★ 財務体質も優良

1. 企業規模の拡大

2. シェアの拡大による 価格交渉力・対応力の向上

3. 東北地方における営業基盤の確立、 全国体制の推進

株式移転に伴う株式取引、手続きについて

■ 経営統合に伴う株式移転

新会社(ウイン・パートナーズ)株式をJASDAQスタンダードに新規上場申請し、
当社(ウイン・インターナショナル)株式は3月27日(水)に上場廃止となる予定。

■ 当社(ウイン・インターナショナル)株式の売買可能期限

2013年3月26日(火)まで

■ 新会社(ウイン・パートナーズ)株式上場日

2013年4月1日(月)

＊本件移転に伴う株主様の手続きは不要です。

ウイン・インターナショナル 1 株に対して、ウイン・パートナーズ 1 株が割り当てられます。
5 月に、3 月末日現在の当社株主様に株式数を記載した割当通知を郵送する予定です。

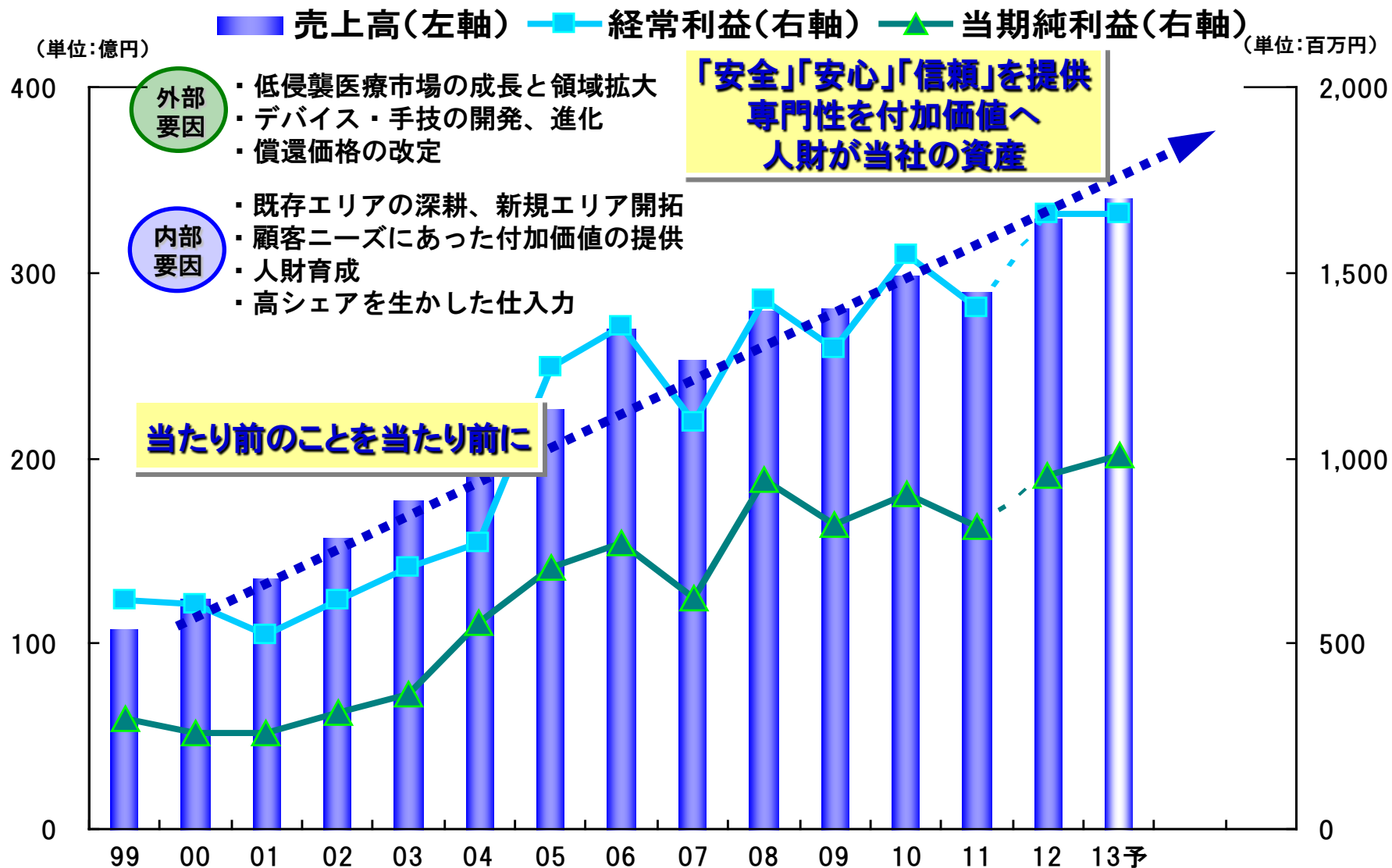
※上記は取引所の判断等により、変更される可能性があります。



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

6. 長期トレンド・株価指標

長期業績トレンド

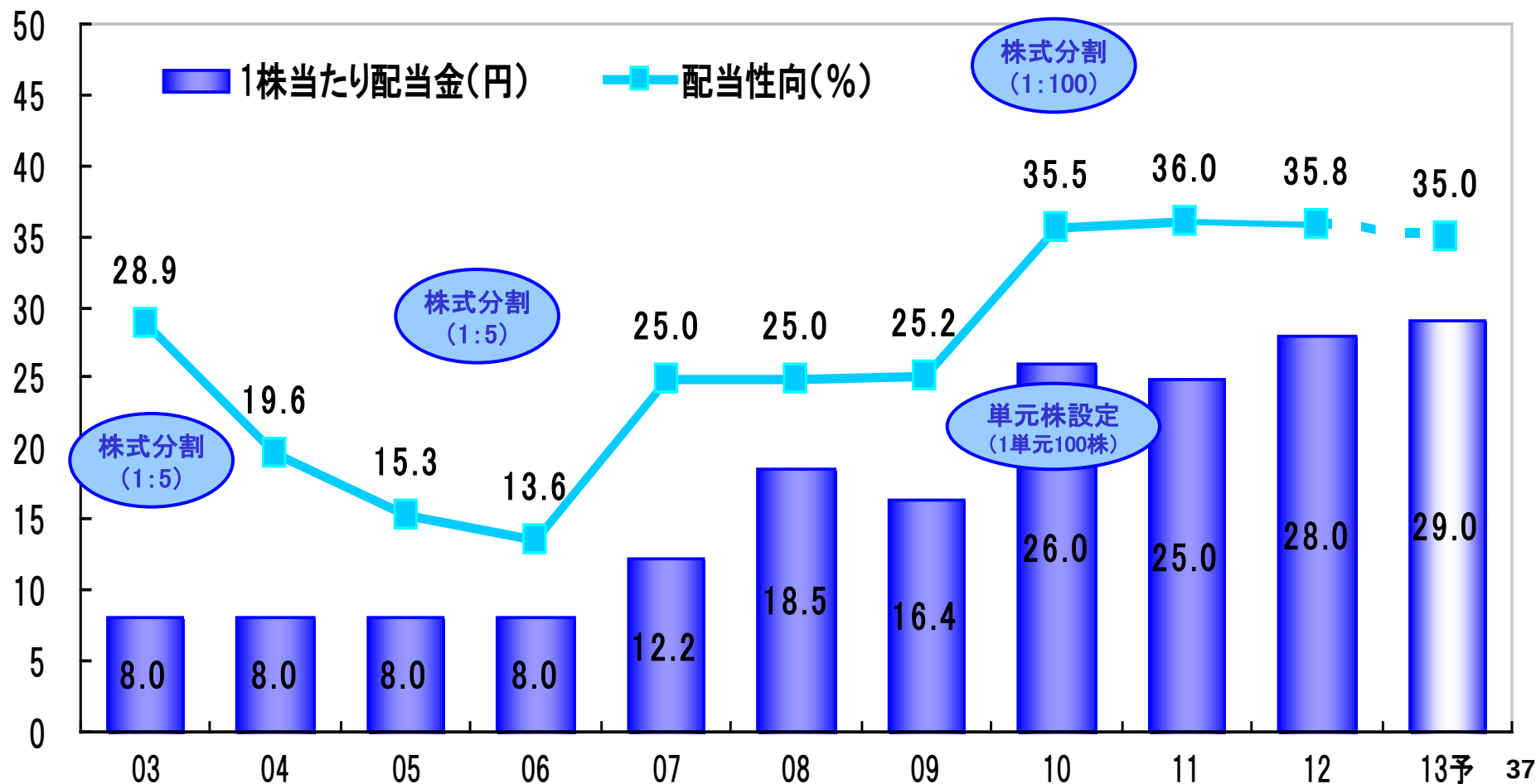


株主還元(期末一括配当)

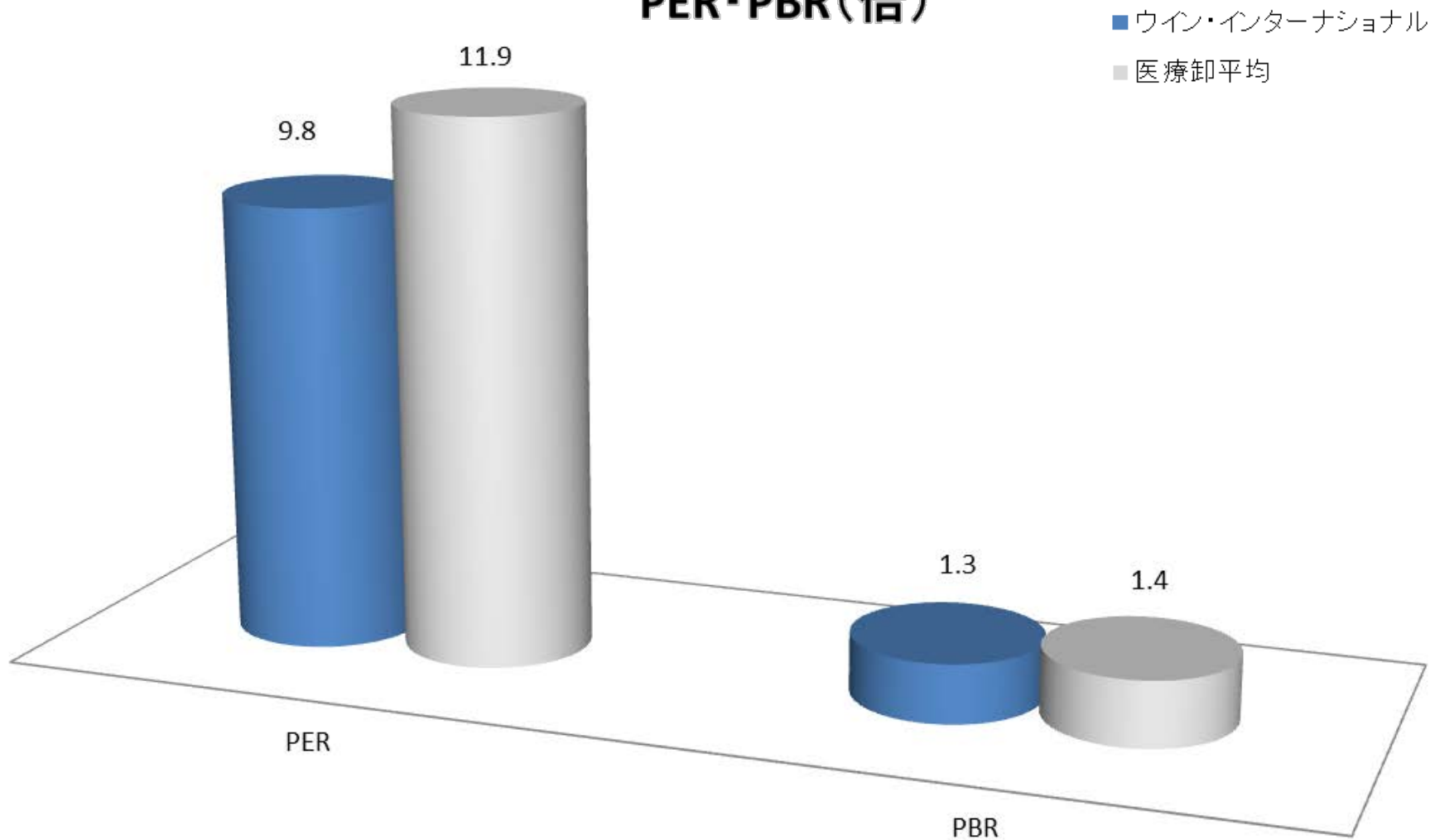
株主還元策

将来の事業展開と経営基盤強化の為の内部留保を確保しつつ、
株主様に適正な利益還元を行う

(単位:円、%)



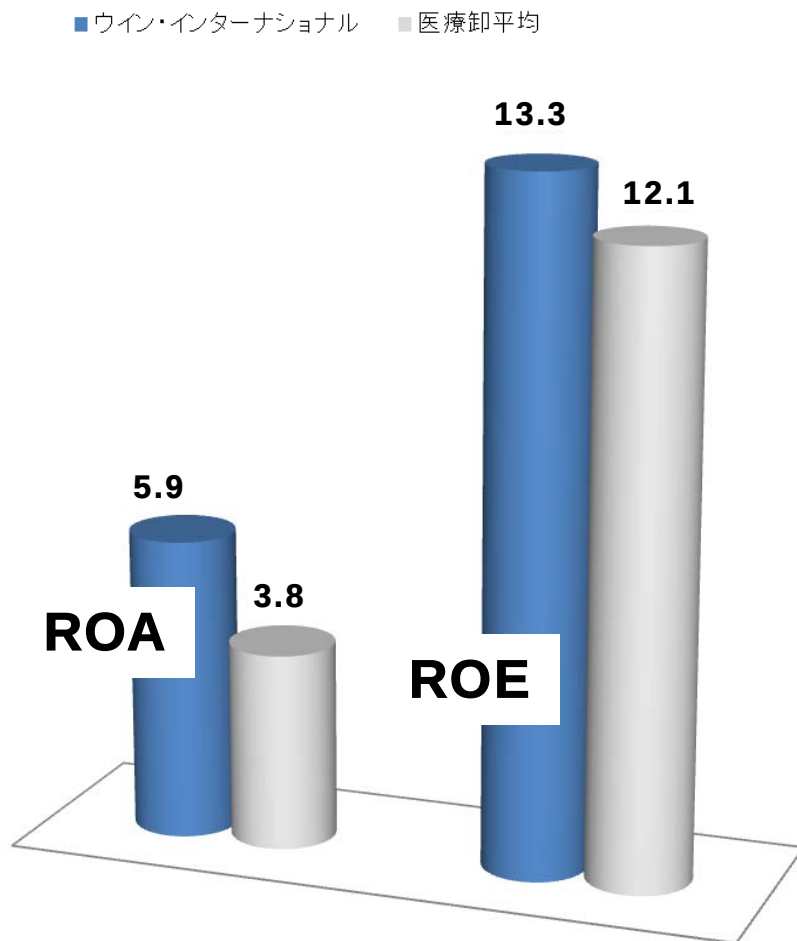
PER・PBR(倍)



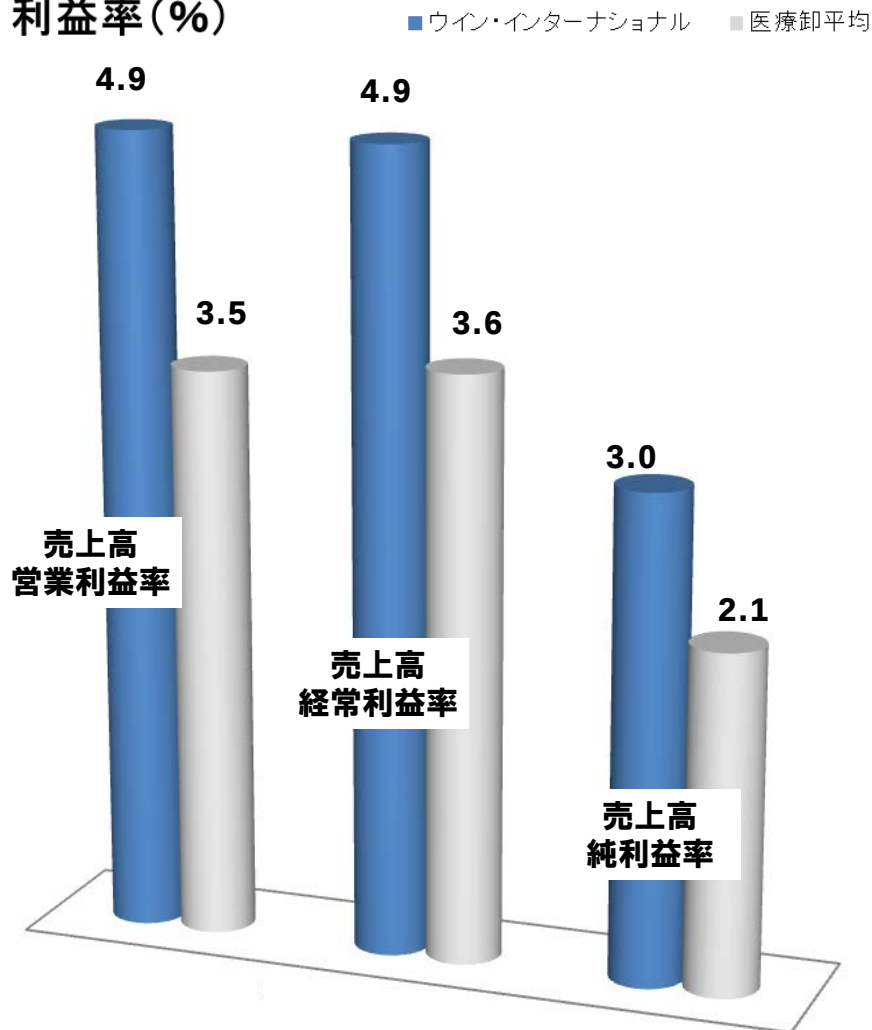
出所: KCR総研(2013年2月4日時点 医療卸平均はウイン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディービーエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近予想(※当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

収益性の分析

ROA・ROE (%)

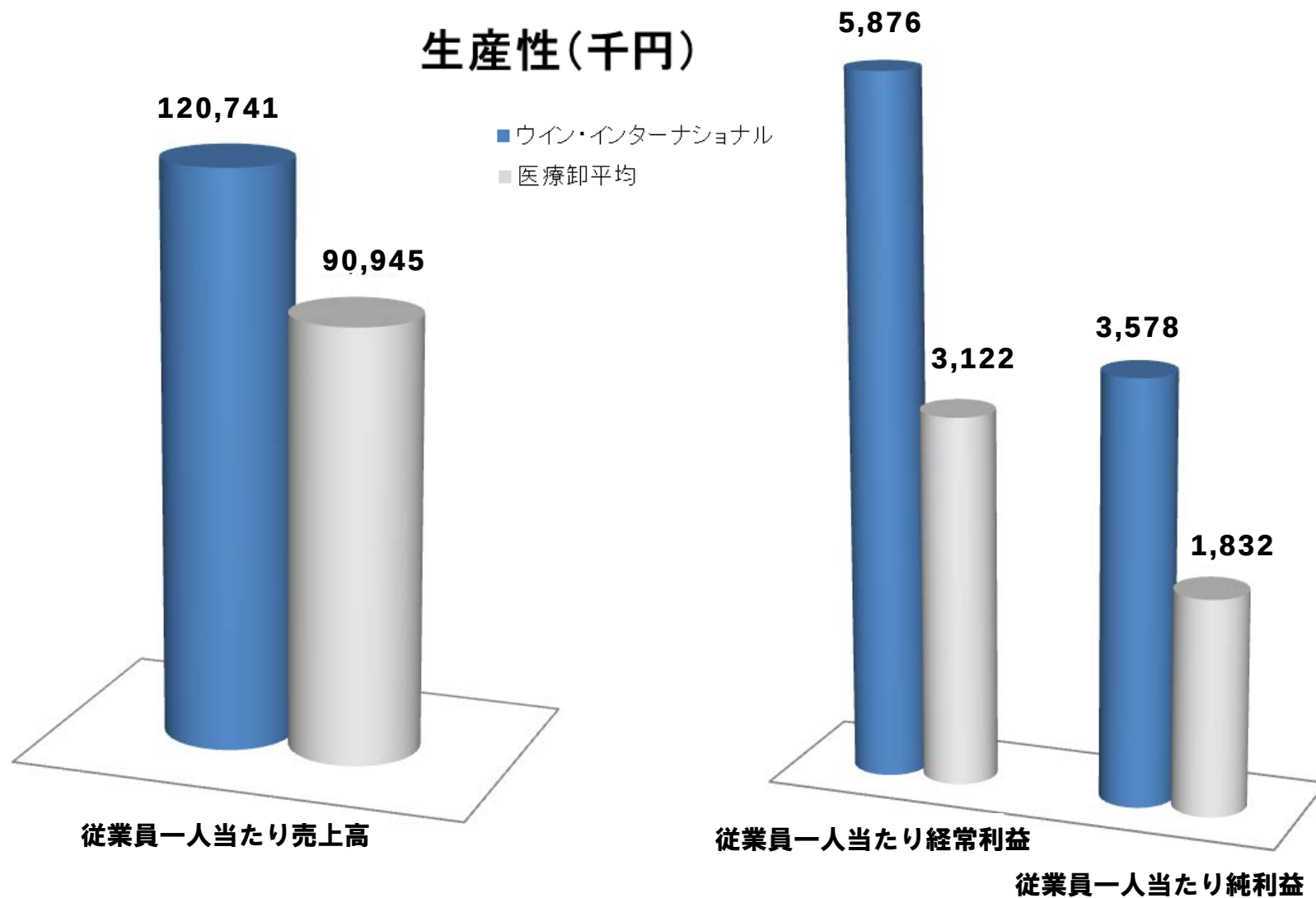


利益率 (%)



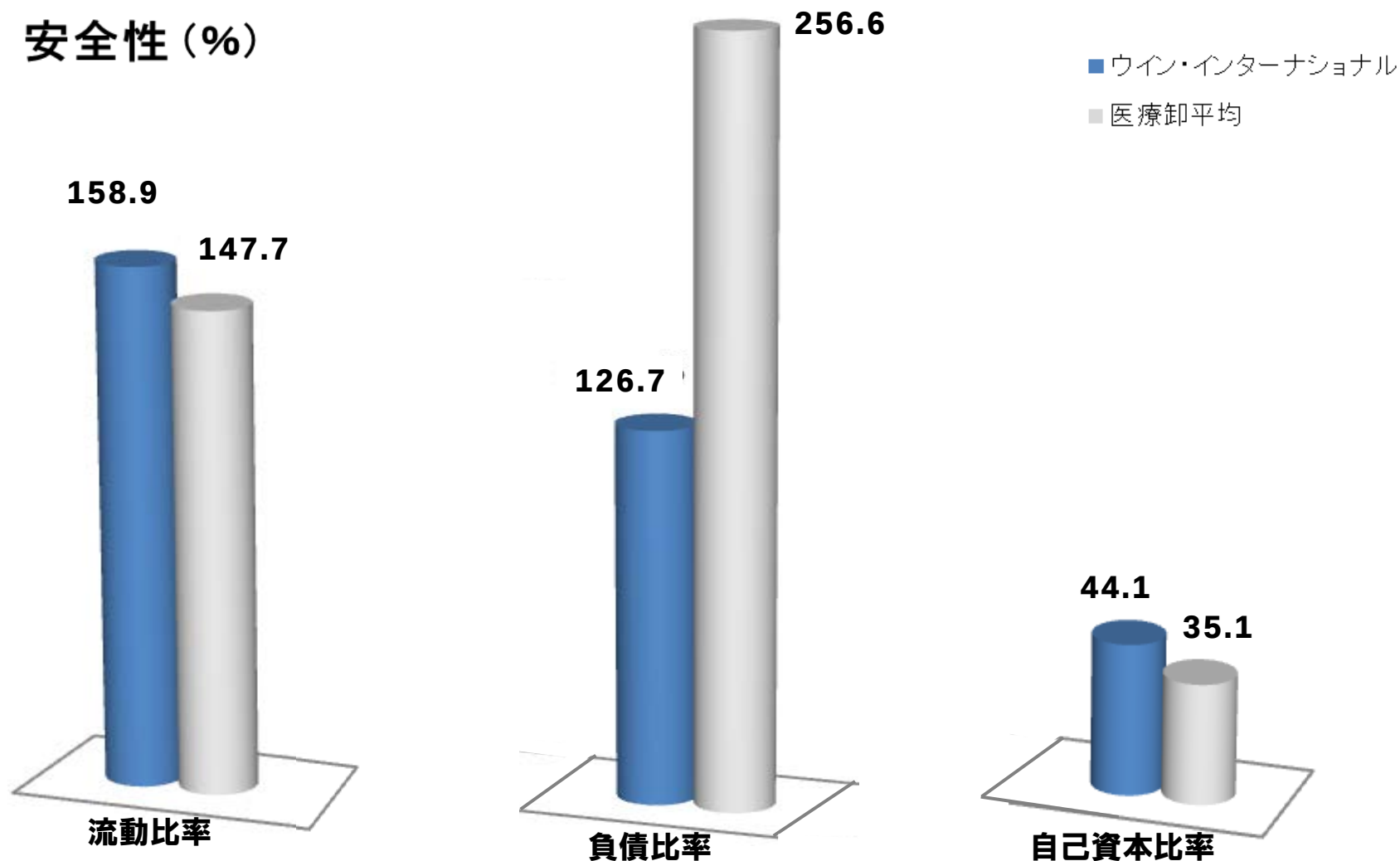
出所: KCR総研(2013年2月4日時点 医療卸平均はウイン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディービーエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近会社予想(※当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

生産性(千円)



出所: KCR総研(2013年2月4日時点医療卸平均はウィン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディーブイエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近予想(※当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

安全性の分析



出所: KCR総研(2013年2月4日時点医療卸平均はウイン・インターナショナル、山下医科器械、メディアスホールディングス、シップヘルスケアホールディングス、ディーブイエックス、日本ライフラインの6社。フローは直近予想(※当社は直近発表数字)、アセットは直近開示資料を基に作成)

低侵襲最新医療システムのパイオニア ウイン・インターナショナル

この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ウイン・インターナショナル(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。

当資料に記載された内容は、2013年2月4日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資を行う際は、投資家ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

本資料に関するお問合せ先



WIN INTERNATIONAL CO.,LTD.

株式会社ウイン・インターナショナル

総務部 IR室

TEL: 03-5688-0878 FAX: 03-5688-0891

HP: <http://www.win-int.co.jp>